教科書Unit.73- 2　6年　比と比の値の意味と使い方
比の利用

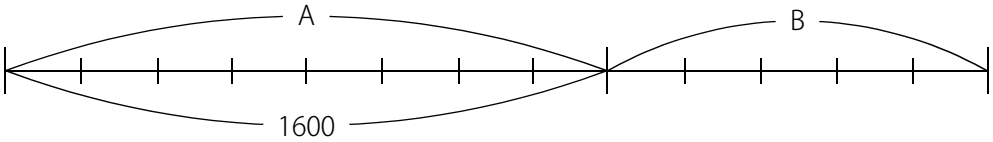
例題と解説

例題１

A君とB君の所持金の比は8：5です。A君の所持金が1600円のとき、B君の所持金は何円ですか。

答え 1000円

[例題１の解説]



上の線分図より、1600円が目もり8個分なので1600÷8＝200より1個分は200円であることがわかります。

B君は5個分だから200×5＝1000 よりB君の所持金は1000円であることがわかります。

(別解)

A君の所持金をもとにする(1とする)とB君の所持金は$5\div8=\frac{5}{8}$です。

これはA君の所持金の$\frac{5}{8}$倍がB君の所持金ということだから、$1600\times\frac{5}{8}=1000$ より

B君の所持金は1000円であることがわかります。

(C) 2014 min-san.com

教科書Unit.73- 2　6年　比と比の値の意味と使い方
比の利用

例題と解説

例題２

□にあてはまる数をもとめなさい。

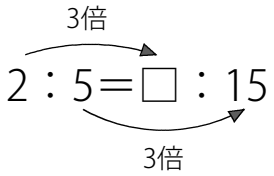
（１）　2：5＝□：15

（２）　4.8：4＝12：□

答え　（１）6（２）10

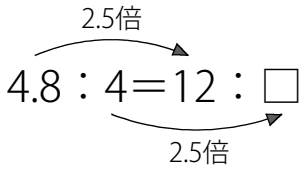
[例題２の解説]

（１）



左図より、15は5の3倍にだから、□も2の3倍です。□＝2×3＝6

（２）



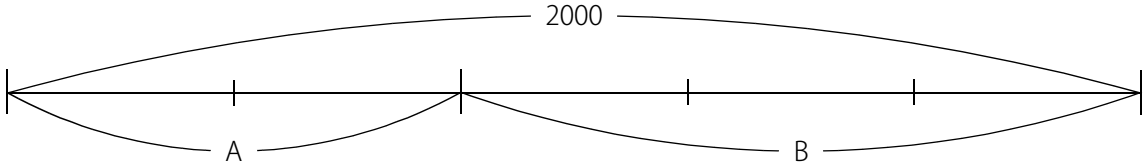
左図より、12は4.8の2.5倍だから、□も4の2.5倍です。□＝4×2.5＝10

例題３

A君とB君の所持金の合計は2000円です。A君とB君の所持金の比が2：3のとき、それぞれの所持金は何円ですか。

答え A 800円，B 1200円

[例題３の解説]



上の線分図より、2000円が目もり5個分なので2000÷5＝400より1個分は400円であることがわかります。

A君は2個分だから400×2＝800円、B君は3個分だから400×3＝1200円であることがわかります。

(C) 2014 min-san.com

(別解)

線分図を使わずに計算だけで求めます。

A君とB君の所持金の比が2：3だから全体は2＋3＝5です。

よってA君の所持金は全体の$\frac{2}{5}$、B君の所持金は全体の$\frac{3}{5}$です。

(A君の所持金)＝2000×$\frac{2}{5}$＝800円、(B君の所持金)＝2000×$\frac{3}{5}$＝1200円

このように合計や全体を比にしたがって分けることを**比例配分**(ひれいはいぶん)といいます。

ポイントまとめ

・合計や全体を比にしたがって分けることを**比例配分**(ひれいはいぶん)といいます。

(C) 2014 min-san.com